

【第3報】ビッグデータ人間工学研究部会公開講座のご案内

各位

日本人間工学会 ビッグデータ人間工学研究部会の新家（しんや）です。
来る2015年12月06日（日）に、本部会の公開講座を開催します。
これは、12月05～06日に開催されている日本人間工学会 平成27年度関西支部大会の中のセッションとして行うもので、本公開講座部分のみ無償となります。

今後、ビッグデータを人間工学の研究活動や実践に取り込んでいくために必要な考え方やツールなどの紹介・解説・検討を約3時間に渡り行いますので、ご参集のほど、よろしくお願いたします。

なお、関西支部大会自体は別途参加費が必要となりますが、人間生体情報・人間行動に関連する発表も多くありますので、併せてご参加を検討ください。

第3報改定内容：タイムテーブルの変更、パネルディスカッションテーマの確定。

ビッグデータ人間工学研究部会 新家 敦

■会期：2015/12/06（日）13:10～16:30

■場所：大阪府立大学 I-site なんば（大阪・難波）

交通アクセス：<http://www.osakafu-u.ac.jp/isitenanba/map/index.html>

■開催形態：日本人間工学会 平成27年度関西支部大会内にて部会主催の無償公開講座の開催

■テーマ：「ビッグデータを人間工学の視点で観る」

■開催趣旨：人間工学の研究者はこれまで実験室実験で多くの知見を得ている。

今後ビッグデータが一般企業に普及するにつれ、相関関係から得られる「こちらの方が売れている・使いやすいようだ」という結果に対して、それがどんな理由であるかを求める動きが出てくるのは必定である。この社会的要求に対応するために、人間工学の研究者・実践者は、ビッグデータの本質が何であるかと、その有効点や限界を知る必要がある。さらには、実験室実験とビッグデータを用いた調査の融合を図る必要があろう。今回は、ビッグデータの活用の視点から2題を、またビッグデータ可視化のためのツールの紹介とその適用事例について2題を取り上げた。

■講演内容（4題）

■1) 13:15 - 14:00 (45分)

演 題：ソフトウェア開発プロジェクトの混乱とその察知・兆候検知

講演者：細川 宣啓氏（日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所 I&S サービスソフトウェアエンジニアリング 部長）

要 旨：IT 業界、とりわけソフトウェア産業におけるプロジェクトの成功率は20%とも30%とも言われています。しかし、いずれのプロジェクトも最初からトラブルであるわけでも意図的にトラブルになるわけでもありません。いわゆる急死・突然死はないのです。本講演では、その兆候察知や人間の行動心理、とりわけ集団心理に焦点を充て、どのような「察知」が可能なのか、メトリクス測定やその他の定量化の試みをご紹介します。クラシカルメトリクスと呼ばれる従来からのソフトウェア工学の枠を超えた、医療における「診断学」を参考にした手法なども紹介します。

■2) 14:00 - 14:30 (30分)

演 題：Tableau が紹介する「誰でも簡単にビックデータを視覚化し、分析」

講演者：並木 正之氏（Tableau Japan 株式会社 Technology Evangelist、Sales Consultant）

要 旨：ビックデータの時代になり、重要度に加え、難易度が増したものとして「データのビジュアライゼーション」があげられます。Tableau では、誰もがデータを早く簡単にビジュアライゼーションし、そこからビジネスを成長させるヒントを得ることができます。本セミナーでは、世界で 32,000 社を超えるお客様が導入している Tableau の魅力について、デモを交えながら紹介します。

■3) 14:30 - 15:00 (30分)

演 題：生体信号と画像をつかったビックデータ・アナリティクス

講演者：大開 孝文氏（MathWorks Japan アプリケーションエンジニア）

要 旨：近年、生体信号の解析における研究は進んでおり、脳波、心電などの解析から、人間の思考や状態をコンピュータで解析して、次の活動に活かせるという取り組みが実現、商用化されつつあります。機械学習や IoT、ビックデータ解析などは、この領域にも適用が可能であり、研究開発が進んでいます。本セッションでは、画像処理も含め、その代表的な事例と MATLAB についてご紹介します。

※休憩 15:00 - 15:10

■4) 15:10 -15:55 (45分)

演 題：損害保険業界におけるビッグデータの利活用事例について

講演者：蒲池 康浩氏（株式会社インターリスク総研 総合企画部 マネジャー・上席コンサルタント）

要 旨：損害保険業界においては、常に最先端の IT 技術をウォッチし、それらの技術を

新たな保険商品や事故予防サービスの開発に利活用しています。

それは、近年注目されている IoT やビッグデータに関する技術についても同様です。

本パートでは、交通事故防止サービスに関するビッグデータの分析・活用事例として、運送会社様が保有するビッグデータ分析とその結果に基づく教育カリキュラムの評価、また、三井住友海上火災保険株式会社が保有する交通事故データの分析結果に基づいて開発した「事故多発マップ」及びスマートフォン向けアプリ「スマ保『運転力』診断」についてご紹介するとともに、現場視点からの課題点やビッグデータ分野における今後の期待についてお話しします。

※セット換え 15:55 - 16:00

■パネルディスカッション 16:00 - 16:30 (30分)

テーマ：人間工学分野におけるビッグデータに対する日本の視点と海外動向

海外の人間工学分野におけるビッグデータの動向について、福住様にご紹介いただきます。

その後、各演題およびテーマに沿ったディスカッションを行います。

司会：福住 伸一氏（日本電気株式会社 情報・ナレッジ研究所 技術主幹）

■担当幹事（司会）

新家 敦（株式会社島津ビジネスシステムズ）

■ref.

一般社団法人 日本人間工学会 ビッグデータ人間工学研究部会

<https://www.ergonomics.jp/organization/member/society.html#bigdata>

■ご出席に際し、事前連絡のお願い

会場の準備がありますので出席人数を把握したく、日本人間工学会 ビッグデータ人間工学研究部会事務局の新家（しんや）まで電子メールで事前に出席の意向をご連絡いただければ幸いです。

電子メールアドレス：shiny[at]shimadzu.co.jp

※メール送信時は[at]を@にしてください。

連絡内容（以下をお知らせください。不要行を削除してください。）

■日本人間工学会会員の種別

1. 会員（正会員（個人）、準会員（学生）および賛助会員のいずれかである場合）

2. 一般

■出席内容

1. 関西支部大会にも参加する
2. 公開講座のみ参加する

※この連絡は強制ではありません。当日直接来ていただいても結構です。

■日本人間工学会 平成 27 年度関西支部大会について

日 時 平成 27 年 12 月 5 日 (土), 6 日 (日)

場 所 大阪府立大学 I-site なんば

大阪府大阪市浪速区敷津東 2 丁目 1 番 4 1 号

主 催 日本人間工学会関西支部

協 賛 兵庫エレクトロニクス研究会

後 援 大阪府立大学

基調講演 「トリリオン・センサと MEMS ～日本の取り組むべき課題～」

講 師 神永 晋 先生

(SPP テクノロジーズ (株) エグゼクティブシニアアドバイザー)

懇親会

--

大会参加費等詳細については、関西支部大会サイトをご参照ください。

平成 27 年度 日本人間工学会関西支部大会

<http://www.marine.osakafu-u.ac.jp/~lab06/jeskb27/>

以上